



三珠中学校校長室だより
令和7年4月17日発行
No.2
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



対面式・生徒会オリエンテーション

4月8日(火)の1時間目、生徒会対面式が行われました。この式は『新入生に生徒会の活動について伝え、活動への興味、関心、意欲を高めること』、『系列、縦割り班の顔合わせの場とすること』、『生徒会執行部役員、縦割りリーダー、系列リーダーなど、上級生がリーダーとしての自覚を高める場とすること』、『2・3年生が上級生としての自覚を高める場とすること』を目的に毎年、その年の生徒会執行部が工夫を凝らして行われています。▼この日も様々な工夫が見られました。ピアノの周りにみんな



で集まって校歌の練習を行ったり、執行部が作成した学校探検動画にちりばめられたクイズをしたりと、楽し

しみながら三珠中のことを知ることができました。クイズの後には今年度の系列色の抽選が行われました。抽選の結果、A系列が「さわやかラムネイエロー(仮)」、B系列が「さわやかラムネブルー(仮)」となりました。終始和やかなムードで行われた対面式、大変良い生徒会活動のスタートが切れました。

▼同じ日の放課後、生徒会オリエンテーションが行われました。授業を受ける際に注意することや、三珠中の伝統『先言後礼』の推奨、先生や先輩に対する口のきき方や清掃時の注意事項など、学校生活に関することを生徒会執行部の人たちが寸劇形式で楽しく説明してくれました。▼説明の後には軟式野球・男女バレーボール・ソフトテニス・総合文化各部長から1年生への勧誘の言葉が述べられました。そして、その後はお楽しみ、部活動見学が行われました。男子は2つのグループに分かれ軟式野球部・男子バレーボール部・総合文化部を、女子はソフトテニス部・軟式野球部(軟式野球部には男女を問わず入部することができます)・女子バレーボール部・総合文化



部を見学しました。明日はいよいよ入部届の提出日となっています。3年間、充実した部活動となることを願っています。



受験は団体戦



4月9日(水)より各教科の授業が始まっています。以下の3枚の写真は、各学年の授業の様子です。授業が始まって1週間が経過し、どの学年も年度当初の緊張感から解放され、そろそろ地が出る頃合いに差ししかかっているのではないのでしょうか?▼さて、**3年間の中学校生活の中で最も多くの時間が割かれるのは何と言っても「授業」**です。学校教育法施行規則によると中学1年生から3年生が1年間に行わなくてはならない授業数は『1,015』となっています。これが3年間ですから中学生は合計『3,045』もの授業を受けることになるのです。中学校の1コマの授業時間は50分ですから、 $50分 \times 3,045 = 152,250分 = 2,537時間30分$ となり、みなさんは中学生時代にこれほど多くの時間を「授業」としてクラスメイトと共に過ごすわけです。



毎日の授業の積み重ねの先に高校入試があることを考えると、いかに毎日の授業が大切なのか分かります。▼3年後にとっても重要な試合に出場する部活動の2チームに例えて考えてみましょう。かたや3年間、毎日質の高い練習を積んで試合に臨むチーム、かたや集中して練習に取り組めないチーム。



その2チームが対戦すればどういう結果になるのかは容易に想像がつくと思います。

す。「**受験は団体戦**」という言葉があります。クラスの一人ひとりが、**毎日の練習(授業)を試合(高校入試)に向けての大切な時間だと考えれば、チーム(クラス)の一員として、また一人の選手(受験生)として何をすべきなのかが見えてくるでしょう。それができるクラスが受験で結果を出せるクラスです。**卒業時、自分の

希望する進路を実現して、「三珠中学校で3年間学ぶことができて良かった。」と生徒全員が言えるように、共により授業をつくっていきましょう。

